

平成 28(2016)年 11 月 8 日

保護者のみなさまへ

豊能町立東能勢小学校
校長 新倉 英俊

平成 28 (2016) 年度全国学力学習状況調査の結果について

深秋の候、保護者のみなさまにおかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本校の教育活動推進にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。

さて、4 月 19 日に行われました平成 28 年度全国学力・学習状況調査の結果が 9 月に文部科学省より公表されました。該当学年の 6 年生児童には個人結果を返却しましたが、本校全体の結果につきまして概況を報告させていただきます。

調査内容は、国語 A・算数 A（主に知識）、国語 B・算数 B（主に活用）、児童質問紙（生活習慣や学習に対する意識等の調査）です。

なお、今回の調査の問題や質問紙の内容は、国立教育政策研究所のホームページで公表されています。また、豊能町の結果概要と分析、今後の取り組み等は、町ホームページに公開されていますのでご覧ください。

I. 国語の結果から

国語 A（主に知識）

- 漢字については、読みも書きも正答率が高い問題が多かった。(国 A-1)
- 図と表を関連付けて読むことは概ねできていた。(国 A-5)
- 表現の仕方について助言の内容を考えることに課題が見られた。(国 A-3)
- 目的や意図に応じて必要な事柄を判断する設問の正答率が低かった。(国 A-4)
- 毛筆で書く場合の文字の大きさや配列などを決める設問の正答率は、全国の平均正答率より低かった。(国 A-7)
- ローマ字の読み書きに課題がみられた。(国 A-8)

国語 B（主に活用）

- グラフや表を基に、分かったことや自分の考えを書く問題の正答率は、全国の平均正答率より高かった。(国 B-2)
- 話し手の意図を捉えながら聞いたり、話の展開にそって質問したりする設問に課題が見られた。(国 B-1)

II. 算数の結果から

算数 A（主に知識）

- 小数や分数を含む計算は、どの問題も正答率が高かった。(算 A-2)
- 無答率が低く、あきらめずに解こうとする意欲が表れていた。
- 「商の見積もりを立てる」「数のしくみを理解する」等、数量感覚を問う問題に課題が見られた。(算 A-1) (算 A-3)
- 直方体から垂直な面を選ぶ問題の正答率が低かった。(算 A-7)
- 示された場面を読み取り、式を表す問題に課題が見られた。(算 A-9)

算数 B（主に活用）

- 図形を構成する角の大きさを基に、示された四角形を並べてできる形を判断する問題の正答率は、全国の平均正答率よりも高かった。(算 B-5)
- 選択式の問題は、府や全国と比べて、正答率が高い傾向があった。
- 式の意味を具体的な場面と関連付けて表す問題に課題が見られた。(算 B-2)
- 言葉や式を使って記述する問題の正答率が低かった。(算 B-1) (算 B-4)

【課題】

国語・算数の結果より、課題のポイントを次の 2 点としました。

- ◎求め方を知るだけでなく、求め方の意味を理解すること。
- ◎場面の意図を把握し、場面に応じた聞き方・話し方・書き方の力をつけること。

【今後の取組み】

- ①今までどおり基礎・基本を大切にしつつ、式・数・言葉を結びつけ、豊かに表現していく学習を創っていく。
- ②グループ討論など話し合う機会を多く設定し、主体的な聞き方や状況に応じた伝え方を身につけられるようにする。
- ③体験や操作活動等の実体験と結びつけ、「何のために」や「なぜそうなるのか」を意識した授業を創造していく。

※ 特に本校の課題と考えられる問題を別紙にまとめましたのでご覧ください。

IV. 児童質問紙について

子どもたちの生活や家庭学習の様子、授業に対する意識を調査したもので、次のような結果と特徴が見られました。

①生活の様子について ※数字は、肯定的な解答の割合です。

○将来の夢や目標を持っていますか (本校 92.1 府 83.1 国 85.3)

○学校に行くのは楽しいと思えますか (本校 92.1 府 85.2 国 86.3)

△学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか

(本校 84.2 府 83.2 国 86.3) 《H26 74.5 H27 77.0 H28 84.2》

※府や国と差は無いが、年々肯定的回答が増えている。

△人の役に立つ人間になりたいと思えますか

(本校 94.7 府 92.9 国 93.8) 《H25 90.4 H26 91.4 H27 92.3 H28 94.7》

※府や国と差は無いが、年々肯定的回答が増えている。

△自分には、よいところがあると思えますか (本校 76.3 府 72.9 国 76.3)

※以前低かったこの項目の肯定的回答割合は、改善されている。

●平日に2時間以上ゲーム機や携帯電話のゲームをする (本校 44.8 府 34.8 国 29.7)

●平日に1時間以上通話やメールやインターネットをする (本校 44.7 府 22.9 国 18.5)

●学校のきまりを守っていますか (本校 76.3 府 86.6 国 91.5)

●いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

(本校 92.1 府 95.9 国 96.6)

●読書は好きですか (本校 63.1 府 71.0 国 74.6)

②学習の様子について

○国語の勉強は好きですか (本校 68.5 府 54.7 国 58.3)

○国語の授業の内容はよく分かりますか (本校 89.5 府 78.9 国 80.7)

○算数の授業の内容はよく分かりますか (本校 86.8 府 79.7 国 80.2)

○「総合的な学習の時間」の勉強は好きですか (本校 92.1 府 73.2 国 77.2)

○5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思えますか (本校 89.5 府 80.7 国 83.4)

●平日に1時間以上家で学習をする (本校 42.2 府 53.8 国 62.5)

●家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (本校 42.1 府 52.6 国 62.2)

●家で学校の授業の復習をしていますか (本校 31.6 府 40.8 国 55.2)

●5年生までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思えますか (本校 68.5 府 71.3 国 77.6)

●学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思えますか (本校 68.4 府 58.0 国 54.8)

●国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめりに内容を理解しながら読んでいますか (本校 68.4 府 75.1 国 78.1)

●算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思えますか (本校 60.5 府 73.9 国 75.8)

●算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか (本校 71.1 府 78.9 国 81.0)

●算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか (本校 52.7 府 62.2 国 67.4)

【課題】

児童質問紙の結果より、課題のポイントを次の3点としました。

◎家庭学習を習慣化させる。

◎きまりをまもることや思いやりの心を持つことなど道徳性・社会性を高める。

◎粘り強く取り組み、自分の考えを広げたり深めたりする。

【今後の取組み】

①家庭学習において、学習の仕方を習得できるような課題の出し方を探る。

②自分も周りも大事に思えるようなつながりを育む機会を多く持つ。

③地域の方と交流したり、外部に出かけたりする機会を多く持ち、社会性を高める。

④授業の中で、考えを持つこと・考えを伝えること・人の考えを聴くことを意識して取り組む。

⑤最後まであきらめずに取り組めるよう、励ましや支援を行う。

V. おわりに

以上のように、全国や府と比較したうえで特徴的な項目について報告をさせていただきました。本校区の子どもたちは、ご家庭でしっかりと見ていただいておりますが、この機会に子どもたちの生活と学習について、振り返っていただければと思います。

学校では、今年度も引き続き、すべての児童が分かりやすい授業づくりをめざして道徳を中心に「考えが生まれ考えが生きる授業づくり」の研究に取り組んでいます。

さらに、子どもたちが安心して元気に学習や活動ができるよう、しっかり一人ひとりを見つめて、学校全体で課題に臨んでいける体制を意識しながら、日々子どもたちの支援を行ってまいります。

今後とも、ご家庭・地域のみなさんと連携し教育を進めていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしく申し上げます。